



板付ドリチャン倶楽部～「身近なまちなか、まちかどのランドスケープ」創造の試み

株式会社アーバンデザインコンサルタント 堤 八恵子

「利用されない・危険」といった公園へのマイナス評価に対し、経済や農業、エネルギー分野など、既存制度を超えた利用で豊かな暮らしに貢献できればと「公園前食堂チェーン」を考えた。公園に隣接して、地域・家庭を対象にしたリーズナブルで安心・安全・快適な場所と生活サービスを提供する民間コミュニティセンターのような施設を設置し、公園を活用しながら公園を維持管理するビジネスである。本作品はそのアイデアおよび当社が事業研究・社員研修・社会貢献として約2年半、「板付ドリチャン倶楽部」の名称で試行した「カルチャー教室&地域イベント広場」事業である。園芸教室やフラワーマーケットなど造園業界に関わる教室や事業から始め、押し花や気功など40種類近くの各種教室、毎月1回のフリーマーケット開催ほか、環境問題に関心が高い若い母親たちの活動・イベントを支援した。

作品概要

対象地：福岡市博多区板付
 事業目的：事業研究・社員研修および当社の社会貢献
 事業体制：一般市民，地域のご婦人方，大学との連携
 事業期間：平成18年6月～平成20年10月
 事業規模：福岡市博多区一円

作品評

新規事業のアイデアの中から生まれた事業研究・社員研究として試行された事業である点がユニークであり、今後ランドスケープコンサルタントが何を指すのか、という点で新たな可能性を感じさせてくれたことが評価された。
 コンサルタントの構成員が地域の人々と対峙し、活動を広げていくことの困難さ、地域の人々に対する当初予測と現実の違い等、コンサルタントの構成員が地域住民とどのように関わっていくべきなのかという2年半の貴重な実地検証が行われたものであり、これらの活動成果をきちんと記録・検証・評価したうえで、今後の新たな活動にチャレンジしていただくことを期待したい。



板付ドリチャン倶楽部



語りい喫茶



環境学習



カルチャー教室



園芸教室



餅つき大会



ミュージックナイト



フリーマーケット



花屋さん